

たかはし ひでのり 高橋秀典県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話043(227)7411

九十九里地域における地域活性化の展望

2月県議会一般質問

広域での連携が有効

旭市選出の高橋秀典議員は、令和5年2月定例県議会の本会議場で一般質問に登壇し、九十九里地域における広域連携や漁港を活用した海業の推進についてなど、東総地域を中心とした課題を取り上げ、県執行部の考え方をただしました。高橋議員のその他の質問も合わせて、概要をお伝えします。

高橋議員 九十九里地域の各市町村はそれぞれの個性ある魅力を持ち、九十九里浜という共通した財産を有する。これを最大限に活用

し地域の活性化につなげるためには、各市町村の努力だけではなく、広域の連携が有効であり、県の積極的な関与が求められるところである。

九十九里浜は成田空港から最も近い海岸であることから、徐々に復活しつつあるインバウンド需要に向けて、その魅力をアピールすることも重要である。

また、九十九里地域にとっては人口減少が共通の課題であり、それぞれに移住定住の促進に取り組んでいるところである。

こうした九十九里地域に共通した魅力を生かすと同時に、地域共通の課題を解決するためにも、広域での連携が有効と考える。特に観光メニューの開発や九十九里ブランドとしての物産の開

域の観光などをむすびつけた海業の振興は、今後の産業発展の上で、また、県の魅力向上の上で大きな意味を持ち、県として積極的な関与が望まれるところである。

また、県内各地の漁港について、様々な環境の変化により、その役割や価値について、水産振興の面から、あるいは地域経済の活性化の面から、いまだ度見直されるべき状況にあるのではないかと

思う。

水産振興を軸として、海業という新たなとらえ方により漁港の持つ価値を再構築することに大きな可能性を見いだせるのではないかと

思う。

そこで何う。漁港を活用した「海業」の推進について、県はどのように考えているのか。

館野農林水産部長 県では、漁村地域の所得向上と雇用機会の確保のためには、漁港を活用して、にぎわいの創出や水産物の消費拡大

後の大きな発展が期待されています。

こうした中、将来にわたって活力ある地域の実現を目指して、海匠・山武・長生地域の16市町村と各地域振興事務所による「九十九里地域市町村連携チーム」がこの2月に発足し、九十九里ブランドを活用した広域的な活性化策の検討が始まったところだ。

今後は、九十九里海岸を始めとする豊かな自然や、都心との近接性を生かして、地域内外の多くの方々の知恵を頂きながら、九十九里地域の発展に取り組んでまいります。

要望 広域の連携で九十九里産品を扱うプラットフォームを作り、全国に発信していただくとともに、新たな九十九里産品の掘り起こしや開発についての支援をお願いする。移住定住施策についても、市町村と連携を強化し、ふるさと回帰支援センターを

の有効に活用していただくよう要望する。また、九十九里のブランド化については、統一した九十九里イメージの発信も大切である。サーフィンを始めた海洋レジャー、農水産物などの素材を生かした九十九里のブランドイメージ構築に対し、戦略的に取り組んでいただきたい。

の文化なども活かしながら、漁業活動と調和のとれた「海業」を推進し、水産振興及び漁村地域の活性化に取り組んでまいります。

要望 漁港施設の有効活用について、地元での官民一体の協議も今後進んでいくと思うので、県有地の有効活用を含めた飯岡漁港を核とした海業振興について、県として必要な支援をいただけるよう要望する。



2月県議会一般質問に登壇した高橋議員

漁港を活用した海業の推進

高橋議員

海に産業の業と書いて「海業」、海業とは漁業・水産業を核に商業、観光、工業といった様々な分野を結び付け、複合的な産業を生み出すことを指す言葉である。

昨年3月には、水産庁の

「水産基本計画」漁港・漁場整備長期計画」に海業の概念が採用された。

また12月には水産庁より「海業支援パッケージ」が示されたところである。

3方を海に囲まれたわが県において、漁業振興と地

域の観光などをむすびつけた海業の振興は、今後の産業発展の上で、また、県の魅力向上の上で大きな意味を持ち、県として積極的な関与が望まれるところである。

また、県内各地の漁港について、様々な環境の変化により、その役割や価値について、水産振興の面から、あるいは地域経済の活性化の面から、いまだ度見直されるべき状況にあるのではないかと

思う。

水産振興を軸として、海業という新たなとらえ方により漁港の持つ価値を再構築することに大きな可能性を見いだせるのではないかと

思う。

そこで何う。漁港を活用した「海業」の推進について、県はどのように考えているのか。

館野農林水産部長 県では、漁村地域の所得向上と雇用機会の確保のためには、漁港を活用して、にぎわいの創出や水産物の消費拡大

後の大きな発展が期待されています。

こうした中、将来にわたって活力ある地域の実現を目指して、海匠・山武・長生地域の16市町村と各地域振興事務所による「九十九里地域市町村連携チーム」がこの2月に発足し、九十九里ブランドを活用した広域的な活性化策の検討が始まったところだ。

今後は、九十九里海岸を始めとする豊かな自然や、都心との近接性を生かして、地域内外の多くの方々の知恵を頂きながら、九十九里地域の発展に取り組んでまいります。

要望 広域の連携で九十九里産品を扱うプラットフォームを作り、全国に発信していただくとともに、新たな九十九里産品の掘り起こしや開発についての支援をお願いする。移住定住施策についても、市町村と連携を強化し、ふるさと回帰支援センターを

の有効に活用していただくよう要望する。また、九十九里のブランド化については、統一した九十九里イメージの発信も大切である。サーフィンを始めた海洋レジャー、農水産物などの素材を生かした九十九里のブランドイメージ構築に対し、戦略的に取り組んでいただきたい。

の文化なども活かしながら、漁業活動と調和のとれた「海業」を推進し、水産振興及び漁村地域の活性化に取り組んでまいります。

要望 漁港施設の有効活用について、地元での官民一体の協議も今後進んでいくと思うので、県有地の有効活用を含めた飯岡漁港を核とした海業振興について、県として必要な支援をいただけるよう要望する。

●県政と旭市に関するご意見をお寄せください。

高橋秀典 県議事務所

〒289-2516 旭市口-1551-4

TEL.0479-62-6896 FAX.0479-62-6897

Eメール.mail:keimeikan@gmail.com

令和5年3月27日(月)

県管理道路の雑草対策



自席から再質問する高橋議員

なく、より抜本的な雑草対策が必要と考える。

そこで何う。県管理道路の抜本的な雑草対策に取り組みべきと考えるがどうか。

池口県土整備部長 県管理道路では、道路パトロールや地域の要望を踏まえ、路肩や道路法面で雑草が繁茂し、見通しが確保できないなど、交通に影響のある箇所を優先し、できる限り年2回の除草を実施しているところで。

しかしながら、年々増加している地域の要望に対応するため、今後は、雑草の発生を抑制するシートの設置など、長期的な防草効果が得られる対策にも積極的に取り組んでまいります。

要望

歩道等の経年劣化により、年々生えてくる草の量が増えていると聞くので、場合によっては必要な工事を行うなど、現場の状況に合わせた抜本的な対応を要望する。

に対応するとともに、大学卒業後の就業までを見通したキャリア意識の高い人材の育成を目指します。

既に校内に準備委員会を設置し、大学等と連携した進路指導や、進学に向けた実力養成講座、課外補習の実施など、魅力ある総合学科の設置に向けた検討が進められております。

高橋議員 総合学科においては、生徒の学習ニーズに対応する系列を設けるということであり、また多様な講座や補習を実施することであるが、そうすると対応する教職員の加配も必要になってくるのではないかと思います。

そこで何う。匝瑳高校における総合学科には、どのように教員を配置するのか。

富塚教育長 県立高等学校の教員については、県の定数配当基準に基づき、学級数や学科の状況のほか、各学校の課題等を考慮して配置を行っています。

総合学科は多様な科目が設置されることから、定められた教育課程が円滑に行われるよう、系列や講座数に応じて必要な教員を配置してまいります。

要望

生徒の学習ニーズにきめ細かく対応できるように、適切な教員配置を要望する。

また、伝統ある匝瑳高校における教育が、総合学科の設置により、より充実したものになるよう要望する。

農地利用の在り方

高橋議員 高齢化や人口減少の本格化により農業者の減少や耕作放棄地の拡大、地域の農地が適切に利用されなくなることが懸念される中、農地が利用されやすく、農地の集約化等に向けた取組を加速化することが喫緊の課題である。

そうした中、国では、農地利用の最適化を進める人農地プランを法定化し、地域での話し合いにより目指すべき将来の農地利用の姿を明確化する地域計画を定めることとした。

この地域計画の策定により農地の集約化を加速させるにあたり、農地の貸し借りや効率的に行うためのいわゆる農地バンク、農地中間管理機構の果たす役割はこれまで以上に重要になってくると思われる。

そこで何う。千葉県における農地中間管理機構による農地の貸し付け実績はどうか。また、今後どのように農地の貸借に取り組むのか。

高橋議員 令和4年度末時点の機構は、担い手への農地集積による農業経営の効率化を図るため、農地中間管理機構を介した農地の貸借を進めているところで。

令和4年度末時点の機構による農地の貸付は、約7,600ヘクタールとなることが見込まれています。

今後、市町村により、将来の農地利用を一筆ごとに明確にする地域計画が策定され、機構はこれを基に農地の貸借を行うこととなります。

このため、県は、地域計画策定後、円滑に農地の貸借が進むよう、機構とともに計画策定の話し合いの場に積極的に参画し、情報提供や助言を行ってまいります。

要望

地域計画策定を進めるに際し、有効な事例について、市町村に情報を提供するなど、県の層積極的な関与を要望する。また、集約に向かないとされる農地活用についても、有効な事例を示すなど、県のさらなる積極的な関与を要望する。

トップクラスのさつまいも産地として更なる振興を図るためには、生産量を拡大するとともに販売力を強化することが必要です。

生産量の拡大に向けては、意欲ある農業者に農地を集積し、規模拡大を進めるとともに、健全な苗を必要数確保するため、増産や安定供給に必要な育苗施設の導入を、新たに支援することといたしました。

また、販売力の強化に向けては、供給量が少なく高値が期待できる時期に出荷ができるよう、長期間、高品質の保存が可能となる専用貯蔵庫の導入を集中的に支援することといたします。

これらの取組により、今後拡大が見込まれる業務加工や海外需要にも対応できるよう、生産者団体や関係機関と一体となって、さつまいもの生産流通体制の強化を進めてまいります。

要望

貯蔵庫の導入については継続的な支援、また充実を要望する。北海道では、温暖化を見越して、さつまいもの栽培を戦略的にとらえ、冷涼な気候に合った品種の選定に取り組みできたと聞いています。

大規模化し生産性を高める北海道のスタイルと相まって、手ごわいライバルになるのではないかと懸念する中で、ライバルに負けないよう、地の利を徹底的に生かした販売流通戦略を県が主導していただきたい。

進学を重視した総合学科

高橋議員 文科省によれば、総合学科で行われる教育の特色として、幅広い選択科目の中から生徒が自分で科目を選択し学ぶことが可能であり、生徒の個性を生かした主体的な学習を重視すること、また将来の職業選択を視野に入れた自己の

進路への自覚を深めさせる学習を重視すること、としている。

この度、令和6年度より匝瑳高校では既存の普通科理数科を改編し、総合学科を設置することであるが、これは特に進学を重視したものと伺っている。

そこで何う。匝瑳高校に設置する進学を重視した総合学科とはどのようなのか。

富塚教育長 県教育委員会では、「県立高校改革推進プラン第1次実施プログラム」において、小金高校、幕張総合高校に続き県内3校

目となる「進学重視の総合学科」を、令和6年度、匝瑳高校に設置することとしています。

同校では、これまでの理数科や国際理解に関する学びを生かしつつ、生徒の学習ニーズに応じた新たな系列を設置し、多様な進学希望

さつまいもの生産振興

高橋議員 令和4年度産の千葉県産のさつまいも生産量は国内第3位、全国シェアは約12%であり、わが県の主要な農産物の一つである。

さつまいもの振興にどのように取り組むのか。 館野農林水産部長 国